

令和2年度夏季福岡県高等学校ハンドボール競技大会開催にあたっての注意事項

1 大会を開催するにあたって

- (1) 感染状況に応じて（緊急事態宣言や県内の感染拡大など）、大会の急な中止等の対応をすることがある。
- (2) 大会主催者、参加選手、引率者、競技役員等それぞれの立場で、感染防止対策を確認し、関係者全員が感染防止のために取り組み実施する。

2 大会参加者への事前連絡

- (1) 各校の引率者は、感染拡大防止のために以下の事項を遵守すること。状況によっては、他の参加者の安全を確保する観点から、主催者から大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
 - ①各校の引率者は試合前に検温など健康状態の確認を行い、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合。（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - ②マスクを持参すること。（競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する）
 - ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - ④手洗い用のマイタオルを用意すること。
 - ⑤他の参加者、大会関係者等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
 - ⑥大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。
 - ⑦感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
 - ⑧大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (2) 大会当日の留意事項
 - ①大会本部前、トイレ手洗い場には、手指消毒剤を設置する。
 - ②発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は会場内に入らないよう呼びかける。
 - ③参加者が距離をおいて並べるように目印を設置する。
- (3) 大会参加者への対応
 - ①体調の確認
大会当日に、参加者は以下の事項を記載した参加受付票を提出する。
 - ア 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）。
 - イ 大会当日の体温。
 - ウ 大会前2週間における以下の事項の有無。
 - エ 平熱を超える発熱。
 - オ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状。
 - カ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）。
 - キ 嗅覚や味覚の異常。
 - ク 体重が重く感じる、疲れやすい等。
 - ケ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無。
 - コ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - サ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - ②マスク等の準備（屋外で十分な距離が確保できる場合は除く）

参加選手・引率者がマスクを準備しているか確認する。なお、競技中のマスクの着用は選手等の判断によるものとするものの、競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクの着用をする。

③大会参加前後の留意事項

大会に参加する選手やチームは、大会前後のミーティング等においても、3密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮する。

④大会参加申込について

ア 顧問は必ず、部員及び保護者から大会参加の同意書を取り、校長責任のもと申し込みを行う。同意書は引率責任者が各学校で保管すること。

イ 大会参加を強要することがないように配慮すること。

(4) 部員又は部顧問（関係指導者）の感染が判明した場合の考え方

①大会前

部員又は部顧問の感染が判明した場合には、当該部員、顧問また、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。

②大会期間中

ア 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。

イ 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。

ウ 他の選手等への健康観察を徹底する。

※その後、新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関の指示に従う。

その経過等については、専門委員長を通じて福岡県ハンドボール協会・福岡県高等学校体育連盟に報告する。合議のうえ、その後の大会運営については中止する。

(5) 必要最低限の人数で実施

①原則選手・役員・引率者・競技役員以外は会場に入れない。

②原則無観客又は入場制限を行う。

③原則大会出場者のみの大会とし、入場時間・退場時間を設ける。

④大声での発声、声援、又は近接した距離での会話等は原則禁止する。

⑤顧問会議については、感染拡大防止の観点から行わず、文書又は電話等での連絡を行う。

⑥開・閉会式、顧問ミーティングは実施しない。

3 主催者側の準備について

(1) 大会の主催者が準備等すべき事項

①手洗い場所

ア 手洗い場には石鹸（ポンプ式）を用意する。

イ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

ウ アルコール等の手指消毒剤を用意する。

②更衣室、休憩所、待機スペース

ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。（短時間の使用にと留める）

イ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。

ウ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。

エ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

③洗面所

ア トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。

イ トイレの蓋を占めて汚物を流すように表示する。

ウ 手洗い場には石鹸（ポンプ式）を用意する。

エ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

オ 参加生徒にはマイタオルの持参を求める。

⑤観客の管理

- ア 観客同士が密な状態にならないようにするため、無観客又は入場制限を行う。
- イ 大声での声援や会話を控える。
- ウ 会話をする際はマスクを着用する。

⑥必要最低限の人数で実施

- ア 選手以外は会場に入れない。
- イ 競技役員・大会補助員：試合に必要な最低限の人数とする。
- ウ 応援：感染拡大の状況を鑑み、原則無観客又は入場制限を行う。

(2) 競技会場及び競技上の留意事項 基本的な感染対策

- ①競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用の推奨）などの基本的な感染症対策を徹底するよう指導する。特に、会場出入り口にはアルコール消毒薬を設置し、トイレに石鹸等準備する。
- ②競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用する。
- ③競技における適切な環境の保持のため、会場内の換気（できれば2方向の窓を同時に開ける）の徹底。空調や衣服による温度調節を含めて、温度、湿度管理に努める。
- ④人が集まる場所（待機場所）では社会的距離2メートルを保ち待機させる。
- ⑤常時解放できない場合は、30分に一度一斉換気を行う。
- ⑥共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。
- ⑦握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避け、近距離での会話や発声はしないこと。応援は拍手のみで行う。

(3) 健康観察の実施

大会に参加するすべての者（選手、顧問、大会役員等会場に入るすべての者）検温を実施。

- ①特に選手は引率者が責任をもって検温結果を確認する。
- ②引率者は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については保護者及び学校管理職に連絡の上参加させないようにする。選手の健康状況については、引率者から本部に報告し、専門委員長は大会運営に支障がある場合にはその結果を協会理事長に報告する。

(4) 開会式・閉会式について

開・閉会式、顧問ミーティングは実施しない。

(5) 抽選会・顧問会議について

- ①顧問会議については、感染拡大防止の観点から行わず、文書又は電話等での連絡を行う。
- ②抽選会は公平性が保たれる最低人数で抽選を行う。

(6) 部員又は部顧問（関係指導者）の感染が判明した場合。

①大会前

- ア 部員又は部顧問の感染が判明した場合には、当該部員、顧問また、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。
- イ 参加申込後の選手交代を認める。

②大会期間中

- ア 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。
- イ 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。
- ウ 他の選手等への健康観察を徹底する。

※その後、新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関指示に従う。
また、その経過等については、専門委員長を通じて福岡県ハンドボール協会・福岡県高等学校体育連盟に報告する。合議のうえ、その後の大会運営については中止する。

参考：スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（日本スポーツ協会）
スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト（日本スポーツ協会）
教育活動再開に伴う感染防止等に係る留意事項（福岡県高校教育課・体育スポーツ健康課）